

「親の学習」プログラム

2-4

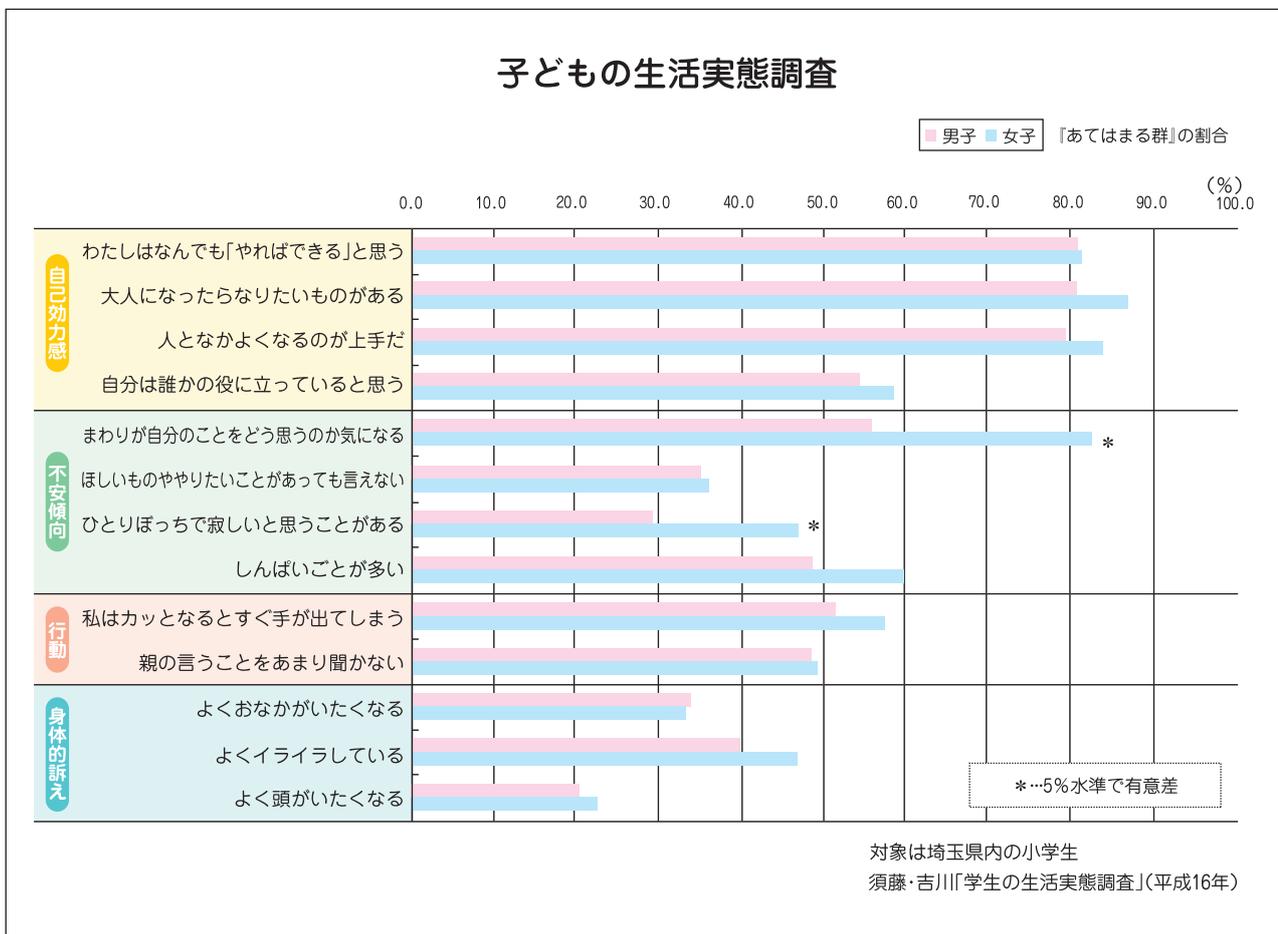
父親の出番？母親の出番？

子どもの成長とともに、親の悩みは変わります。父親の役割、そして母親の役割、さらには周囲の大人による支えについて考えます。

また、子どもから見た父親、子どもから見た母親についても考えてみましょう。

ワーク
1

つぎの資料を見て、気づいたことをメモしてみましょう。



メモ1

メモ2

メモ3

メモ4



グループに分かれて、話し合ってみましょう。

① グラフをみて気づいたことはありますか。

② あなたの小学校時代のことも思い出してみましょう。

③ 寂しいとき、不安なとき、あなたが小学生ならだれに相談しますか？

④ グループで話し合ってみましょう。



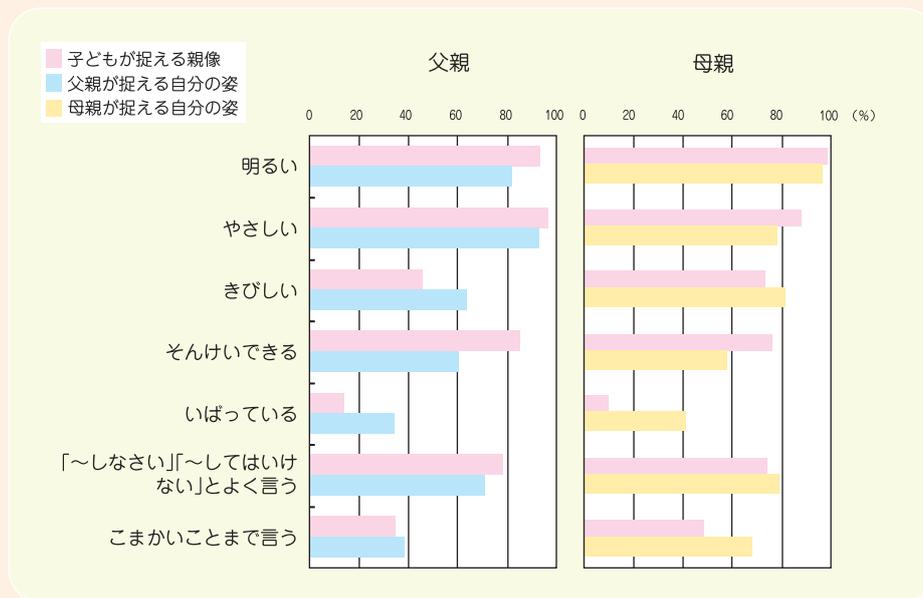
ふりかえり

①話し合いで、参考になった意見や考えがありましたか。

②みなさんの話を聞いてどう思いましたか。

資料

子どもから見た父親、子どもから見た母親



子どもにとっては父親・母親は、優しい存在のようだ。
一方、父親・母親は、自分が尊敬できる存在ととらえていない様子が見える。

対象は埼玉県内の小学生
須藤・吉川「小学生の生活実態調査」(平成16年)

資料

家庭はどのような意味をもつ？（複数回答）

家族団らんの場 62.5%
 安らぎの場 59.4%
 絆を強める場 34.0%



内閣府「国民生活に関する世論調査」（平成13年）

平成13年の調査では、家庭の機能、役割はさまざまですが、まずは、家族団らんの場、そして安らぎの場と捉えています。

相談事例

心理相談の現場から

子どもをめぐる相談は実に多様です。相談の内容が多様であることに加え、問題の背景もまた、多様です。相談の経過もさらに多様です。心理相談の現場にいると多くの子どもたちや保護者が抱える悩みの中に、家庭の場への不安、家庭が支えや安らぎの場になっていないことが形を変えて問題を引き起こしているケースに出会います。そして困難な状況の中から立ち上がっていく子どもにもまた出会います。「子どもの力はたくましい」と思わずにはいられません。しかし、困難な状況の中から子どもたちが立ち上がるには、やはり安心できる場と安心できる人の支えが必要です。